

令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	里山ネットワークやまがた		
事業名	「森里川海」連携による豊かで優しい環境社会づくり		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型）【テーマ：子どもから大人まで環境にやさしい社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	998,946円
		うち助成金額	998,946円
事業実施期間	令和6年8月1日～令和7年2月28日まで		

事業目的・実施内容	（事業目的） 環境保全活動の基本的な考え方に「世代を継承する」仕組みづくりがある。環境問題は1代で完結するものではなく、次世代への橋渡しが不可欠です。そのためには、教育や体験を通じた積極的な取り組みと、広範囲にわたる活動との連携が求められる。今回のテーマである「環境に優しい社会づくり」において、私たちは山形県固有の「最上川」と「庄内浜」に焦点を当て、これらの豊かな地域資源を次世代に引き継ぐ施策として、「森里川海」連携をコンセプトに据え、親子で行う体験型フィールドワークを通じて、環境と社会づくりの意識づけを行う事を目的とする。
	（実施内容） ・実施形態：体験型ワークショップ、フィールドワーク ・実施概要：山形県の庄内浜沿岸は約90kmにわたり、豊かな自然と海洋資源が広がっている。また県内を流れる最上川は、かつて「最上川舟運」と「北前船」によって山形県の産業を支えてきた重要な河川です。しかし近年、上流から川ゴミが下流を経て日本海に流れ込む問題が深刻化している。この状況に対応するため、最上川沿いをエコドライブしながら、ゴミの回収・記録し庄内浜では専門家とゴミの現状を確認すると同時に、魚食を通じて海の恵みを体験し環境保全の重要性を再認識した。これにより、河川美化・環境意識の向上、さらにフードロスの防止や排水処理改善を目指した。 ・対象者：県内在住の親子（参加17組） ・開催日：2024年11月23日、24日（二日間） ・実施場所：渚の交番カモンマーレ（鶴岡市加茂にある海洋教育の総合拠点） ・講師等：NPO法人山形県自動車公益センター、NPO法人パートナーシップオフィス、NPO法人最上川リバーツーリズムネットワーク ・情報発信：WEBサイトやSNS

事業の成果	事業を通じて「森里川海連携」への意識醸成が図られた。グループに分かれた参加親子からの意見や感想を通して最上川およびその支流・流域でのゴミ・汚染対策の必要性を実感していただいた。また、海の恵み（美味しさ・楽しさ）に関わる海ゴミの深刻さを体感することで、森・里・川・海が循環してつながっていることを理解できる機会を提供できた。これにより、環境保全への意識向上と行動変容を促進する成果を得ることができた。
今後の展望	今回の事業を出発点として「森里川海連携」の理念を基盤に各種事業を展開する。これにより、地域住民の環境保全に対する意識向上を図り、「意識の循環型社会」の実現を目指す。継続的な活動を実践し、多様な主体が協力・協働する仕組みを構築し持続可能な地域づくりに貢献する。

ワークショップ実施状況



庄内浜の恵みを語るランチ会



団体概要

団体名 里山ネットワークやまがた

代表者 代表理事 佐藤五郎

URL <http://www.sn-yamagata.org>

令和 6 年度山形県N P O活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	「森里川海」連携による豊かで優しい環境社会づくり
団体名	里山ネットワークやまがた

1 収入の部		(単位：円)
区分	精算額	内容
県補助金	998, 946	令和 6 年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金		
合計	998, 946	

2 支出の部		(単位：円)
区分	精算額	内容
謝金	232, 370	講師 3 名、調理 2 名、フロア 1 名、各 2 日間
旅費	23, 650	参加者交通費、スタッフ打合せ交通費等
印刷製本費	257, 510	広報チラシ、デザイン印刷費、講習資料等
消耗品・材料購入費	22, 000	食材・消耗品購入等
通信運搬費	10, 982	
保険料	2, 750	
使用料	38, 500	会場使用料等（2 日間）
人件費	223, 176	4 名
(委託費)	186, 908	事業運営スタッフ費、他諸経費
(備品購入費)		
(修繕費)		
その他	1, 100	BK振込料
合計	998, 946	